

# 新しい試み

紹介子

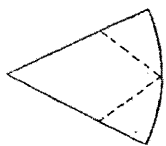
亞米利加の幼稚園で行はれてゐる新しい遊び方  
二つ三つを御紹介いたします。近着の「ザ・キ  
ンダーガルテン・アンド・ファースト・グレード」  
から抜萃したものです。

## ○雛菊の飾り

亞米利加の子供達は、雛菊を大變に好みます、  
尤も雛菊はあちらでは「キンダーガルテン・フラワー幼稚園の花」と稱される  
程で何處の幼稚園にも大抵は栽培せられてゐるの  
であります。雛菊は言ふまでもなくあつさりとし  
た可憐な花であります。

亞米利加ではフレールベル誕生記念日には幼稚園  
の子供達は紙で拵へた雛菊を以て幼稚園の園舎を  
綺麗に飾り立てます。この雛菊の造り方は至つて

簡單です。豎に溝の入つてゐる西洋紙を用ゐれば  
一番上等ですが、それが無かつたら普通の西洋紙  
でもいゝでせう、丸く切抜いて、直徑を折目とし  
て二つに折ります、而してこの半圓を更に四半圓  
に折り、更に又この四半圓を八半圓に折ると上圖  
のやうになります、それからこれを圖の點線に沿  
うて切抜きます、而してこれをひろ  
げますと雛菊の形が出来上ります、  
最後に黄色い色鉛筆で花心を塗り上  
げるといよく雛菊が出来上るわけ  
です、この時に最初用ゐる紙を豎溝の紙にします  
と雛菊の瓣が本當のに近く出来て誠に具合がいゝ  
のであります。



この出来上つた雛菊を澤山集めて糸に貫いて室

内に吊るのも面白いでせう、壁や羽目に波線若しくはジグザグを描いてピンでとめるのもいいでせう、或ひは又黑板に貼り付けて花の下に莖や葉を白墨で描き足すのも愉快な仕事として子供達に喜ばれるでせう。この雛菊の作り方などは或ひは日本人の方が本職かも知れず、日本の幼稚園では斯ういふ遊びを仕盡してゐるかも知れませんがこの出来上つた造花を如何に有効に利用して子供達を楽しましむべきかといふことはまだいろいろ工夫すべき餘地があるだらうと思ひます。

### ○室内播種

外國では復活祭といつて三月二十一日以後の満月に次ぐ第一日曜日に耶蘇の復活を記念するためのお祭りを行ひます。このお祭には飾物として又進物用としてイースター・エッグと言つて赤く染めた鶏卵を澤山に用ゐます。米國の幼稚園ではこの鶏卵の殻を利用しやうとするのです。それには

復活祭が終る頃になると保姆はイースター・エッグを集め始めます、これは一方の端だけが破れてゐるだけで全體としては一寸見には完全に見えるやうなのを選つて集めるのです。滅茶々に碎けてゐる殻は何うにも仕様がありません。さてこの卵殻が集まると各園児の名が一々の卵殻の上に記されます。

二人の幼兒が桶とスベードを携へて遊園に行き土を掘つて來ます。室内では幼兒達が丸く列んで真中の床の上には大きな紙がひろげてあります、而して向日葵の種子がその直ぐ傍に置いてあります、遊園へ行つて土を桶に入れて持ち歸つた二人の幼兒はその土を紙の上に撒きます。幼兒達はめいめい自分の名の記してある卵殻をもつて來て土を取り入れます、而して向日葵の種子をこの卵殻の中に蒔きます。卵殻の中に植ゑるのですから種子を深く下しすぎるといふ憂ひは全くないわけです。種子蒔きが終つて了ふとこれらの卵殻

は窓の傍に置いてある砂の箱の上に列べて置きま  
す、而して時々水を灌ぎます。

向日葵の芽が出た時幼児達はどんなに喜ぶで  
う。向日葵が少し大きくなると各幼児はこれを自  
宅へ持ち歸ります。何時までも室内へ置けるもの  
ではありませんし、又植ゑ替へてやる必要もある  
からであります。

### ○繪入りのお話

この繪入りのお話は亞米利加に於てその國語即  
ち英語を、ホンの少ししか理解しない外國の幼兒  
を收容する幼稚園で用ゐる始めたのであります。是  
等の幼兒にお話の妙味を十分味はせるためには耳  
ばかりでなく眼にも訴へることが必要であります  
その結果は無論よろしく幼兒の興味と愉快を増さ  
しむると共に想像力の働きを旺盛ならしめ語彙を  
富ましむる便益があります。畫學用紙か何かを臺  
紙にして山や子供や木の形を切り抜きます。而し

て保姆はお話をする時にこれらの切抜いた舞臺道  
具をうまく配列し、そこに話の主人公を活躍させ  
るのであります。

### ○第二回兒童教養講習會

期日と時間 八月五日より十日迄毎日午前八時よ  
り正午迄

申込期限 七月末日

場 所 東京府下目黒兒童研究所講堂

講習科目及講師

(いろは順)

國民道德	文學博士	井上哲次郎
學校と家庭		鳩山春子
小兒病と家庭看護法	醫學博士	太田孝之
兒童の訓練	文部督學官	野田義夫
兒童と色彩	文學士	黒田明信
教育的測定	ドクトル 文學士	久保良英
普通教育に於ける理科と家事		近藤耕藏
兒童の變質	女高師教授 醫學博士	三宅鑑一